

成果指標				
成果指標	決算額÷予算額=執行率(0.95以下を目標とする)			
指標設定の考え方	予算の執行率でコスト縮減が図られているか検討する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	0.95	0.95	0	0
実績	0.65	0.74	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	事業実施に伴う事務経費であり、経費の効果的な執行に努める取り組みが必要だが、これ以上の経費節減には限界がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	事業実施に伴う事務経費であり、経費の効果的な執行に努め、設定目標数値を上回る取り組みが求められる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題